

落札者決定基準

1. 落札者決定の概要

本業務は、パッケージの導入とデータ移行等の運用準備、クライアント機器等必要な物品の借上げ、稼働後の運用・保守、及び契約終了時の引継ぎ等、図書館システムの運用に係る全てを包含した図書館システムの導入及び運用・保守業務を委託するものである。

事業者の選定にあたっては、有効な入札を行った者のうち、入札価格及び事業者の実績及び技術力と、システムの運用管理に関する提案を総合的に評価して落札者を決定する、総合評価落札方式一般競争入札によって行う。

2. 総合評価の方法

入札価格及び提案内容をもとに価格点及び技術点を算出し、その合計点数を総合評価点数として最も高い者を落札者とする。なお同点の場合は、くじにより落札者を決定する。なお、提案を評価するにあたっては、事業者評価委員会を設置し審査及び採点を行う。

(1) 価格点

価格点は、入札書により次のとおり算出する。ただし、入札価格が上限価格を超過している場合、価格点は算出せずに失格とする。

下記の算出式による価格点が100点を超える場合は価格点を100点とする。

価格点 = (1 - 入札価格 ÷ 上限価格) × 4 × 100点 (価格点の配分)

(2) 技術点

技術点については、提案書及び提案評価基準表をもとに事業者評価委員会が提案内容等の審査及び採点を行う。なお、調達仕様書に示す要求機能の実現が困難と認められる場合については、不合格とする場合がある。

【技術点配点】

評価種別ごとの配点は、以下のとおりとする。

評価種別		提案内容	配点
I	提案者の業務実績	・ 大学図書館へのシステム導入及び運用実績数 ・ 同規模以上の導入実績とその概要 ・ 仮想マシンへの導入実績の有無	50点
II	提案者の認識	・ システム全体構成 (本学との役割分担) ・ 提案のコンセプト等	30点
III	調達仕様への対応	・ 導入計画と実施体制 ・ パッケージシステム導入 ・ 現行システム保有データの移行 ・ クライアント機器導入 ・ サポート業務 (対応と体制) ・ セキュリティの確保	50点
IV	業務機能に関する要求事項	・ 提案するパッケージシステムの本学図書館業務との親和性 ・ 自動貸出機、入退館ゲートとの連携 ・ 学外からのアクセス充実	70点
技術点の配分			200点

【評価項目（小項目）ごとの評価】

評価項目（小項目）ごとの評価は以下の5段階で行う。

評価ランク	評 価 基 準	得 点
A	本学の要求を満たす非常に優れた提案	10
B	本学の要求を満たす優れた提案	8
C	本学の要求を満たす提案	5
D	本学の要求を満たすために一定の改善が必要な提案	2
E	本学の要求を満たさない、または、記述がない提案	0

評価項目の重要度に応じて、項目ごとの得点に次の表に示す乗数を乗ずる。

評価項目（小項目）の重要度	乗 数
非常に高い	× 3
やや高い	× 2
普通	× 1

【技術点の算出方法】

技術点は、評価種別ごとに以下の算出式を用いて点数を算出し、合算したものとする。

算出式

$$\text{技術点} = \frac{\text{評価委員の採点の平均点}}{\text{評価種別ごとの合計点（満点）}} \times \text{評価種別ごとの配点}$$

(3) 有効数字

価格点及び技術点は、小数点第2位以下を四捨五入して算出する。

(小数点第1位まで)